

印西大師 番外 平塚・中台薬師（中台集会所）

- 1 名称 (No.168/298)〔手引鏡：中台薬師〕〔資料館：なかたへ薬師〕〔行程表：中台薬師〕
- 2 場所 白井市平塚1582-1 中台集会所
河原子・河原子堂から道程約2,090m
GPS座標 35.820456153284496, 140.07949320267596
- 3 由緒 平塚村字中台にあり 延命寺持にして薬師如来を本尊とす 由緒不詳 檀徒132人（印旛郡誌）
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が8体あり。
- 5 境内 大師堂のほか薬師堂があり、石造物もたくさんある。
- 6 写真 (2022.10撮影)



大師堂



向かって左から1体目(第47番)



向かって左から2体目(第68番)



向かって左から3体目(第3番)



向かって左から4体目(第27番)



向かって左から5体目(第74番)



向かって左から6体目(第2番)



向かって左から7体目(第8番)



向かって左から8体目(第28番)



大師堂



中台薬師堂



薬師堂前の石造物

7 情報

(1) 平塚村大師

明治二十八年五月寺田治兵衛氏(現当主寺田治市氏)は、弘法大師の御聖徳を慕い、四国霊場巡拝の大願を成就、これを記念して、明治三十三年五月、当地区に四国八十八ヶ所の霊場を写し平塚新四国八十八ヶ所とした。毎年五月柏大師結願のあと篤信の人々相集い一日掛りで順拝をするのである。平塚では大師参りはこの外に、四月印西大師、九月白井大師がある。

村大師の順路は延命寺の一番から始まり創始者寺田家の九番から浅間塚を通り本郷の大通りに出て不動石、弁天と巡り旧堂跡青年館より中台に向う。中台青年館で休憩、堂地を通り笹塚台の大日塚から榎台に入る。旧薬師堂跡墓地より金左工門屋敷跡を拝し西に向い小森に至る。海老原氏宅内の古墳上の七十五番から下道に出て一路船戸に向う。船戸よりキャンプ場への道を巡り、庚申塚より薬師堂(青年館)で休憩、畑道を本郷八幡宮に向う。鳥見神社から、六十四番を拝し八十八番延命寺で結願である。道順距離約十一キロメートルほどである

昭和六十二年は、平塚大師の八十八年目に当るので、延命寺境内平塚大師由来碑の前にお砂踏石を建設し盛大な大師巡拝が行われた。各札所毎に、札所番を示す、標石或は大師像を刻した石が建立されている。大別すると、次のようになる。

○標石 一何番と刻してあるもの 41基

・箱型 21基中建立年記銘あるもの15基 内昭和9基、大正4基、明治1基。形態としては、標石41基中20基が多い

・駒型 12基で内明治が4基、昭和が4基、大正1基他は無記銘である。

・自然石型 8基の内無記銘のもの6基で明治1基、大正1基である。

○像大師 大師像が刻されているもの。総数53基ある。

・丸彫刻像 大型のものと、小型のものがあり、31基あって、内記年銘のあるものは20基で、明治が12基で多くその内明治33年、34年の頃のもの線刻のものと共に多い。創建時からのものであろう。

・石柱内蔵型 この形態は5基で、明治1、大正2、昭和2基で、十九番のものは形態が多少変っている。

○線刻像 17基あり、明治期が14、昭和期が1基で、1基は記年銘がないものである。

(昭和63年10月白井町教育委員会「白井町石造物調査報告書・第三集」より)